

よしみ

議会だより

平成28年
12月定例議会

No.146

- 主な議案の内容 P2～
- 視察研修報告 P7～
- 一般質問に7名登壇 P9～

平成29年吉見町成人式

12月定例議会

12月定例会は、12月6日から8日までの3日間の会期で行われ、条例の一部改正、財産の取得、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、人事案件等14議案がすべて可決、同意されました。



松山城跡の公有地化(平成28年度から3か年計画)

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

■議案第70号 税条例等の一部を改正する条例

内 容 地方税法等の一部改正に伴う関係規定の改正

◎選択できる医療費控除

(施行期日 平成30年1月1日)

従来の医療費 もしくは スイッチOTC医薬品購入費



健康診断を受けるなど一定の取り組み(自己管理)を行う個人が対象
控除には領収書が必要
(平成29年1月1日購入分より)

セルフメデイケーション
税 控除 対象

◎軽自動車グリーン化特例1年延長

(施行期日 平成29年4月1日)

平成28年4月1日～平成29年3月31日に
新規取得した一定の環境性能のあるものが対象



■議案第74号 平成28年度一般会計補正予算(第5号)

内容 既定の予算額に9761万1千円を追加し、予算の総額を63億5957万9千円とする

一歳入一	(1万円未満切り捨て)	一主な歳出一	(1万円未満切り捨て)
○国庫支出金	7545万円	○障害者自立支援給付費	4661万円
○県支出金	1678万円	○障害児通所給付費	206万円
○諸収入(公有建物災害共済金)	537万円	○人間ドック等受診者補助金	50万円
		○臨時福祉給付金	5025万円
		○放課後児童健全育成事業委託料	250万円
		○果樹試験栽培苗木購入費	50万円
		○土地改良事業(水路法面修理)	210万円
		○生徒選手派遣費	58万円
		○松山城跡物件補償料	160万円
		○北公民館エアコン修繕料	72万円
		○給食センター修繕料	419万円
		○財政調整基金積立金	△1402万円

2年6か月分 15,000円を一括支給

平成29年4月以降、支給対象者には申請書が郵送されます。

主な質疑

問

諸収入の公有建物災害共済金537万6千円、修繕の詳細は。

答

8/27未明の落雷被害で給食センター排水処理設備が停止し、地下設備が水没し故障。ばっ気ブローア3台、臭突ファンを修理している。

問

障害者自立支援給付費の対象者の実人数は。

答

現在112名の実利用者となっており、すでに昨年度の実利用者数を超えている。

問

放課後児童健全育成事業委託料の内訳は。

答

支援員の処遇改善加算の見込みが実績により減、支援員加算分が増、ひとり親家庭及び第2子以降の子どもに対する保育料半額補助分が増。

問

果樹試験栽培苗木購入費50万円、苗木の種類と本数は。

答

みかんの苗木、200本。

問

みかんを選んだ理由は。

答

町内の民家の庭先にもたわわに実っていることなどから町の気候に適していると思った。

問

近隣のみかんの生産状況は。

答

みかん栽培の経営体があるのは、滑川町・嵐山町・小川町・ときがわ町・鳩山町などです。

問

市場売買価格調査は。また、収益が得られるのか。

答

価格はJA直売所を調査した。収支については、試験栽培とあわせて検討していく。

議員

提出者

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

■議案第67号 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容 給与表(400~1500円)と勤勉手当0.1月引き上げ及び扶養手当の見直し

主な質疑

問

平成29年度から扶養手当の段階的見直しが行われるが、平成29年度、平成30年度の対象者の内訳は。

答

平成29年度の見込みの対象被扶養者の内訳は、配偶者39人、子132人、父母8人。
平成30年度は、配偶者39人、子132人、父母7人。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

若年層や子育て世代の職員は引き上げになるが、年齢層の高い職員は引き下げとなる。政府の要請に従って配偶者扶養手当を減額する人事院勧告には反対。

議員

●扶養手当の見直し

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円	段階的に引き下げ
子	6,500円	8,000円	10,000円	段階的に引き上げ
父母等	6,500円	6,500円	6,500円	変更なし

◇平成29年4月1日見込み 対象被扶養者数 179人 影響額 △37,500円
◇平成30年4月1日見込み 対象被扶養者数 178人 影響額 +80,000円

■議案第68号 町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

内容 町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合の改正(年間0.1月引き上げ)

主な質疑

問

それぞれの引き上げ額と影響額は。

答

町長8万3040円。副町長7万1640円。教育長6万7800円。影響額は22万2480円。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

高年齢層の職員は配偶者扶養手当が見直され、月収自体が引き下げとなる中で、人事院勧告に準じて期末手当の引き上げのみを適応させることは反対。

議員

■議案第69号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

内容 議会議員の期末手当の支給割合の改正(年間0.1月引き上げ)

主な質疑

問

それぞれの引き上げ額と影響額は。

答

議長3万6820円。副議長2万9640円。委員長2万9040円。副委員長2万7840円。議員2万7600円。影響額は40万2720円。

議員

提出者

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

議員報酬は、人事院勧告に準じて引き上げたり、引き下げたりするという性格のものではない。今、多くの中小企業や町民が依然として厳しい情勢の中で引き上げるべきでない。

議員

小宮 榮議員

賛成討論

吉見町議会では、議員定数を22名→14名に減らしており、議員報酬も下げてきています。また、政務活動費もいただきずやっています。市と比べると高い報酬ではない。

議員

■議案第73号 財産の取得について

内容 国指定史跡比企城館跡群松山城跡の公有地化のため9筆、約1万120㎡を976万9188円で取得

主な質疑

問

実測売買で取得する土地は、一筆ごと隣接地の所有者立ち合いで確認をし、確認書に捺印をいただいているか。

答

土地所有者及び隣接地所有者には、立ち合いで境界確認し、土地境界確認書に捺印をいただいている。

議員

提出者

■議案第80号 平成28年度一般会計補正予算(第6号)

内容 既定の予算額に350万円を追加し、予算の総額を63億6307万9千円とする

オールよしみ農産物6次産業化スケールアップ事業

地方創生推進交付金350万円 + 一般財源400万円

- ◆農産物ブランド化総合PRホームページ・リーフレット作成
- ◆農産物6次産業化新商品開発
- ◆吉見農業ブランド力強化パッケージ関連の作成

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子
議案第67号	一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第68号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第69号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第70号	税条例等の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第71号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第72号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第73号	財産の取得について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第74号	平成28年度一般会計補正予算(第5号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第75号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第76号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第77号	平成28年度公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第78号	平成28年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第79号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

町長提出議案(追加)

議案第80号	平成28年度一般会計補正予算(第6号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
--------	---------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「—」は議長のため、採決に加わっていません。

人 事

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に土田健壽(つちだ けんじゅ)氏を選任同意(再任)しました。

吉見町大字北吉見1613番地146
昭和16年6月4日生まれ



町議会を傍聴してみませんか



次の議会は**3月定例議会**
2月28日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024(直通)

期 日 平成28年10月11日(火)

視察場所 長野県下伊那郡売木村

目 的 農業集落排水施設における省エネ技術の導入について

老朽化した施設を省エネ技術を導入して更新

売木村の農業集落排水施設は供用開始から16年が経過し、経年劣化による老朽化や故障、機能低下した機器が増加をしていました。また、人口減少に伴い使用料の減収も見込まれることから、電気料金等の削減を図るため施設の更新とあわせて、省エネ技術を導入することで検討を始め、平成27年度に農業集落排水施設が更新されました。

売木村の人口は584人で、平成28年3月31日現在の農業集落排水事業対象人口は384人、加入人口は354人で加入率は92.19%となっています。

冬期の水利用の少ない期間を利用し、貯留槽に配管を行い、短期間で工事を実施しています。攪拌機かくはんの入れ替え工事は2日間の工程で行い、流量調整槽の代わりに汚泥貯留槽を利用し、配管、ポンプ等は据え付け手動による運転を行いました。その間は、常時ポンプ等の動きを確認し、放流水の透明度が下がらないように調整を行いました。委託業者が浄化センターで24時間体制で対応したため、

安定した水管理ができたということです。

吉見町の北部中央地区クリーン施設も供用開始から13年が経過し老朽化が進む中、省エネ技術導入事業の実施状況、事業の効果について活発な意見交換が行われ、農業集落排水施設の見学も行い、視察研修を終了しました。



期 日 平成28年10月12日(水)

視察場所 静岡県藤枝市

目 的 藤枝市の防災対策について

自主防災組織を中心に地域防災力を強化

藤枝市では自主防災組織を専門的に指導できる地域防災指導員を養成し、地域の実情に即した防災対策の強化に努めています。また、阪神淡路大震災を教訓として、木造住宅の耐震補強、家具の転倒防止、感震ブレーカーの設置等への補助を実施する一方、市民には水、食料とも1週間分以上の備蓄をお願いしています。

地域防災指導員は、地域の防災リーダーや自主防災会長の補佐役として、自主防災組織に対する個別指導や地域・事業所における実践的な訓練の普及促進、県や市からの防災情報の伝達活動等の役割を担っています。毎年、初級・中級・上級の養成講座をそれぞれ実施し、防災全般知識の習得を始め、^{*}イメージTENなどの図上訓練を行い、各自が地域で図上訓練の実施が可能となるよう努めています。現在752人(初級101人、中級108人、上級543人)が地域防災指導員として活躍しており、このうち女性は37人(初級9人、中級3人、上級25人)で、年齢層は60歳以下が約4割となっています。

このほかにも、地震対策、風水害対策、原子力災害対策などについて説明を受け、活発な意見交換が行われ、「自らの命は自ら守る 自らの地域は皆で守る」をスローガンに掲げて、さまざまな防災対策に取り組んでいる藤枝市に学び、吉見町の防災力の強化に資する視察研修でした。



^{*}イメージTENとは…災害時に自主防災組織がどのように対応したらいいかを具体的に考えるイメージトレーニング。

期 日 平成28年10月27日(木)
 視察場所 栃木県塩谷郡高根沢町
 目 的 小中一貫教育の取り組みについて

義務教育9年間で児童生徒を育てる取り組み

高根沢町には小学校が6校、中学校が2校あり平成24年度から、目指す児童生徒像を「自ら学び心豊かでたくましく生きる児童生徒」と設定し、小中一貫教育を実施しています。

それぞれの小中学校で基本方針を施設連携型による小中一貫教育を進め、義務教育9年間で4・3・2の教育区分に分けて様々な取り組みを実施しています。とりわけ中1ギャップなどの課題に対応するため、小学校から中学校までのつなぎの部分である小学5年から中学1年までの3年間で重点区分としています。

小中一貫教育の主な内容ですが、国語・算数・数学等の苦手分野を克服するために、小中一貫指導計画を作成し実施しています。

中学校英語科教員による小学校出前授業を通して児童の英語活動への関心を高めるとともに、小学6年生が中学校体験を、6校の小学5年生が臨海自然教室で交流を図る

など、望ましい人間関係づくりやコミュニケーション能力を高めています。

キャリア・特別支援教育では小学5年生から将来の夢を意識するなど、該当学年ごとに取り組むテーマを定め実施しています。

少子化が進行する吉見町においても将来的な学校のあるべき姿を検討するとともに、義務教育9年間を見通した教育のあり方など参考となる研修でした。



期 日 平成28年10月28日(金)
 視察場所 茨城県ひたちなか市
 目 的 子育て支援事業の取り組みについて

地域ぐるみで子育て世帯を支援する体制づくり

ひたちなか市子供・子育て支援事業計画では「絆で結ばれた地域の実現」に向けて、家族の絆及び地域の絆を強化・再構築するという視点から「子育て支援・親育ち支援・地域育ち支援」を基本に子育て支援事業を展開しています。

家族の絆を強化・再構築するための一押しの事業は、「怒鳴らない子育て練習法講座」で大きな声を出さずに子供に伝わりやすく、理解しやすい具体的な表現となる方法を学びます。

地域の絆を強化・再構築するための事業としては、市内28か所で展開している子育てサロンへの支援を強化しています。子育て支援コーディネーターによる講座や相談事業の開催、保育士による手遊び・運動遊びなどの出前保育を開催するなど人材を派遣して連携を強化しています。

保育所は公立保育所5園、民間保育所17園あり、定員は2,705名となっています。平成28年7月現在で待機児

童が63名おり、解消に向け平成30年当初には民間保育所2園の開園を目指しています。

子育て支援センターは公立保育所に2か所、民間保育所に11か所併設されています。さらに公設で1か所、来年秋以降のオープンを目指しています。

吉見町においても将来にわたって元気な町を実現していくために子育て支援は重要であり、地域全体で支援していかなければならないことを改めて感じた研修でした。



町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



町内の全小学校での 合同事業の実施を

▶▶ 日本共産党 岩田 晃一 議員

問 町内にある6校の児童は卒業すると吉見中学校へ入学する。各小学校の児童が中学入学前に交流する方法としてスポーツ少年団などもある。町として遠足や林間学校、修学旅行、運動会などの行事を全小学校合同で行い小学生同士の交流を深めていけば、中1ギャップと言われる環境の変化による不登校や引きこもりにも効果が期待され、合同でやることによってさまざまな経費も抑えられると思うが、企画していく考えはあるか。

答 近年の児童数の減少や小学校から中学校への円滑な進学を考えると、行事の合同実施は児童にとって中1ギャップの解消などに一定の効果のある取り組みだと考える。合同実施については、場所や移動手段、準備等の課題はあるが、経費削減などの利点も考えられるので、今後調査研究していく。

問 反射材の配布と活用促進について。イベントなどで配布されている交通事故防止の啓発品の反射材。着こなしを崩すことなく幅広い年代に活用してもらうために、よしみんをデザインした缶バッチの反射材を作り配布したらどうか。

答 反射材の配布は、交通事故から身を守る意識を高めるきっかけづくりの啓発品のひとつで、町民一人ひとりが交通安全意識を高められるような啓発活動に取り組んでいくことが重要。今後も広く地域ぐるみで各種交通安全運動を展開するとともに、反射材の利用を含め、自分の身は自分で守るという基本的な考え方を広めていく。



庁舎管理の状況は

▶▶ 神田 隆 議員



問 庁舎エレベーターの故障により利用者に多大な迷惑がかかり不便が生じたが、これまでの維持管理の状況は。

答 庁舎エレベーターの維持管理は、異常や不具合が無いかが調査し、任意での保守点検を毎月1回実施し、その結果を踏まえ消耗部品の交換や補充メンテナンスを行っています。

問 庁舎の防火管理及び避難訓練や高齢者、障害者の避難方法は。

答 庁舎及びコミュニティセンター消防計画を策定し、それに基づく避難訓練を実施するなど、災害時の安全確保、被害軽減に努めています。また、避難誘導の方法ですが、各階で編成された自衛消防隊の避難誘導班が、非常口から高齢の方や障害のある方を安全な場所に避難誘導します。

問 庁舎のユニバーサルデザインは。

答 高齢の方や障害のある方だけでなく、全ての方が庁舎を利用しやすいよう、職員が日々見回りを行うとともに、各種設備は定期的に保守点検を行っています。ハード面の取り組みとして、1階は各課の受付カウンターを低くし、町民ホールは段差解消を行っています。また、多目的トイレにはオストメイトを設置しています。

問 庁舎の建築物等定期調査・検査報告での指摘事項は。

答 外壁部や屋上周りのパラペット部の劣化及び非常時の照明器具の不具合また、既存不適格としてエレベーター周りの防火区画の確保が挙げられています。

その他の質問 ・文書管理について



点検中のエレベーター

学校のトイレの臭気の改善を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員



問 学校のトイレの臭気の状態と臭気を改善するための具体的な対策と予算は。

答 西小及び西が丘小学校では臭気の発生はないがその他の学校では確認している。設備が老朽化しているため根本的な対策としては便器、排水管の取替え工事となるが、当面は、芳香剤の設置、こまめな換気を行うとともに、定期的に予算計上し、専門業者による清掃を実施して臭気対策を講じていく。中学校は国庫補助が活用できれば全面改修をしたい。

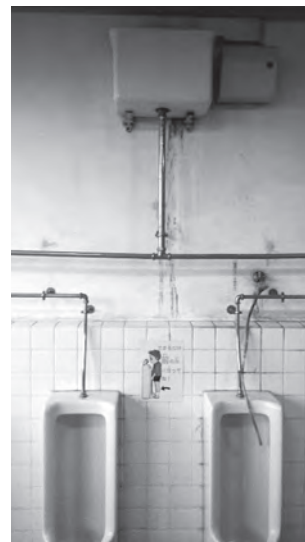
問 7月には北小でトイレの臭気が教室にまで臭ってきていたが、11月に全小中学校を調査した時には、そのようなことはなかった。トイレの臭気は気候等の影響で日によって大きな差があり、強い臭気が発生する状況は年に何度もあるということが今回の調査で分かった。

専門業者による便器の尿石除去は一部の学校で行われてきているが、これとあわせて床面の洗浄を行うことを求めたいが見解は。

答 学校は1日の大半を過ごし、トイレは何回も使用する大事な場所なので、善処していきたい。

問 以前に強い臭気を確認した北小については、男子用のトイレが集中タンク方式で手動の洗浄ボタンがない。また、換気扇とトイレの照明のスイッチが1つになっており、分ける必要がある。それぞれ改善を。

答 現場を確認し、必要に応じてフラッシュバルブの取付けを行う。スイッチは学校に確認したところ対応を希望したため、現在見積りを取っている。



築49年経過している北小トイレ

その他の質問

- ・健康マイレージ制度の取り組みを
- ・防災、減災対策のさらなる強化を(4項目)



産後うつ検診の導入を

公明党 秋山 真美 議員

問 産後うつは、10人に1人が経験するとされ、厚生労働省では平成29年度から産後うつ予防のため検診費用の助成をするが、町として事業導入の考えは。

答 町では、保健師などによりきめこまやかに必要かつ適切な支援を行っている。産後うつは早期に不調を発見し、速やかに専門機関につなげ適切な支援を受けることは重要。産婦人科医や専門機関との連携体制を一層密に整えていく。「産後うつ検診費用助成」は、県内や近隣自治体の動向などを注視し、調査研究していく。

問 乳がん検診で高濃度乳腺と判断された方への対応は。

答 高濃度乳腺の方は、町で実施するマンモグラフィでの写真診断では、全体が白く映ってしまうため病変が判別しにくい。今年度から、検診結果通知書

で超音波検査等の精密検査受診を勧奨している。

問 高濃度乳腺や精密検査などについてわかりやすく説明する文書の送付ができないか。

答 わかりやすい説明の方法もあわせて検討する。

問 ウォーキングやジョギングをしながら地域を見守るボランティア活動「ジョギングパトロール(通称ジョグパト)」。犯罪の予防や防災意識の向上を目的に、自分の生活スタイルに合わせ、好きな時間に自由なルートで行うもの。導入の考えは。

答 先進地域の取り組み事例、警察など防犯関係機関の声も参考にしながら調査研究していく。

その他の質問

- ・車中泊避難者対策について
- ・コミュニティスクール設置の推進を



ウォーキングの愛好者

水稲病害虫防除に無人ヘリコプターの利用を

荻野 勇 議員



問 水田は農地の集積や連たん化が進む中、粒剤による防除や動力噴霧器・乗用噴霧器での防除はあまりにも非効率。しかも暑い中での作業で負荷も大きい。各地で無人ヘリコプターによる薬剤散布が始まっている。農産物病害虫防除協議会で取り組む考えは。

答 協議会で実施するには課題が多いと認識している。個々の圃場^{ほしやう}での取り組みでは他の圃場からの病害虫の感染が懸念されますが、面的防除により病害虫が抑制されれば、品質の安定性が向上すると考えます。農家の高齢化が進む中、防除作業の効率化・省力化には大変有効であると考えます。

問 農作物に病害虫が発生し、対策の必要性が生じた場合、情報収集や対策立案はどこが主導するのか。

答 情報収集は農協・共済・振興センター・町職員が農家から直接情報を伺っています。協議会としては病害

虫の研究機関等から情報をいただきながら、有効な防除計画を立て実施しています。

問 道の駅の駐車場、春と秋は慢性的な不足状態となっている。また、各種イベント開催日は特に混雑が激しい。今後どのようにすべきだと考えているか。

答 道の駅に多くの方が来ていただくことは喜ばしいことですが、駐車場がいっぱいなので、なるべく早い時期に駐車場を広げていくことを検討しています。

問 広域農道から道の駅への進入路左側の遊水池は雑草が2m位伸びていて、交通安全上見通しが悪い。また、景観も良くないが刈り取る考えは。

答 道の駅入り口に雑草が繁茂する光景は望ましくありませんので、今後管理を徹底していきます。



道の駅駐車場の空気を待っている利用者



持続可能なまちづくり

» 小林 周三 議員

問 今、吉見町はまち・ひと・しごと創生総合戦略をベースに人口減少社会に対応するため、子育て世代定住化促進奨励金制度を立ち上げ、元気で活力あるまちづくりに対応している。そこで今後の吉見町を展望するにあたり元気な高齢者、子育て支援は大変重要なことと考え次の質問をする。

高齢者の移動支援について。現在の65歳以上の人数と運転免許保有者数は。

答 人口は5,583人、免許保有者は3,576人で、保有していない人は2,007人。

問 現在各種移動サービスを受けている実人数は。

答 支えあいサービス外出支援では293人、福祉移送サービスでは117人、福祉タクシーでは76人。

問 差引き1,512人が今後サービスを受けられない事態が起こる。その対策が急務である。対応策は。

答 買い物支援など移動困難者対策を含め検討する。

問 子育て支援における放課後の児童生徒の居場所について。

答 現在放課後子供教室で65名、放課後児童クラブで77名が利用している。

問 指導員はどのような人か。

答 放課後子供教室では元教員4名、保育士の資格を持っている者が1名等。放課後児童クラブでは特に資格要件はない。

問 二つの事業はそれぞれ補助金の違いで運営されているが、幼保一元化のようなことは可能か。

答 国では一体型の放課後児童クラブと放課後子供教室の実施に向けて検討している。



「部落差別」はまだ本当にあるのか

» 戸谷 照喜 議員

問 今、国会で「部落差別の解消の推進に関する法律案」が審議されている。万一、この法律が通ると部落差別・同和問題が再び社会問題化しかねない。この法制化の動きを町はどう見ているか。

答 まだ参議院で^{*}審議中なのでお答えはできない。

問 同和事業は平成14年に政府自身が終結宣言を行っている。差別は基本的に無くなったとの認識からだ。この間政府は対策費に16兆円も投じている。吉見町では今も部落差別が本当にあるのか。

答 最近では差別事例があったとの報告はない。平成26年に比企郡同和対策協議会が実施した人権に関する意識調査によれば、例えば住宅購入や生活環境を選ぶ場合、「同和地区を気にする」「どちらかと言えば気にする」と答えた人が合わせて37%いる。これは差別意識がまだ残っているからだと思う。

問 吉見町には同和問題を根本的に解決するために教育推進の場として和名集会所と田甲集会所がある。町民であれば誰でも借りることができるか。

答 「吉見町集会所設置及び管理条例」の第1条の設置目的に沿った催しならば誰もが利用できる。教育委員会に利用申請を出していただきたい。

問 私は部落差別は今や存在しないと思っているので、この新法の成立自体が、政府の矛盾行為だ。改めて「部落」の掘り起こしをして、新たな部落の固定化、永久化を図るだけだ。さらに同胞融和を誰もが望んでいるのに、これによって再び住民同士の分断や感情の対立が生まれる。どう思うか。

答 日本は法治国家であるので、その良識に従って考慮していきたい。

※上記法律案は、平成28年12月9日、参議院本会議で可決成立。



和名集会所

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 尾崎 豊 議員

日 時 平成28年10月20日(木) 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席議員 尾崎豊 荻野勇 杉田しのぶ
 小林周三

最初に管理者から事務の執行状況について報告がありました。平成28年4月から9月までの管内から搬入されたごみ量は、可燃ごみ1万8382.55t、粗大ごみ599.33t、合計1万8981.88tであり、昨年同期と比較して可燃ごみ134.73tの増、粗大ごみ12.39tの増、合計では147.12t、0.78%の増であります。他団体からは、大里広域市町村圏組合から2,461.54t、小川地区衛生組合から50.74tの可燃ごみを受託しています。

灰の処理は、合計2,512.58t全量をセメント原料として委託をしています。また、今年度の排ガスのダイオキシン類調査結果は、基準値5ナノグラムを大

きく下回る良好な結果とのことです。

次に、第2期大間処分場については、鴻巣市とともに今後の対応を大宮国道事務所、埼玉県と調整をしているとのことです。

..... **付議された議案の内容**

- 議案第7号 行政不服審査会条例
 - 議案第8号 行政不服審査法関係手数料条例
 - 議案第9号 情報公開・個人情報保護審査会条例等一部改正
 - 議案第10号 人事行政の運営公表条例一部改正
 - 議案第11号 職員の分限に関する条例一部改正
 - 議案第12号 平成27年度一般会計決算認定
 - 議案第13号 一般会計補正予算(第1号)
 - 議案第14号 監査委員の選任同意(矢島義幸氏)
- いずれも原案のとおり可決、認定、同意されました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 宮崎 雄一 議員

日 時 平成28年11月4日(金) 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席議員 秋山真美 神田隆 宮崎雄一

全員協議会で配布された長期修理計画表について説明がありました。平成29年度から38年度の10年間で老朽化した施設の大規模改修を行い、必要な費用は新たな負担金が発生しないよう現在の構成市町の負担金から確保できるように計画しているとのことです。

本会議開会前に勤続5年功労表彰が行われ、鴻巣市の大塚佳之議員・菅野博子議員、北本市の高橋伸治議員、吉見町推薦で選任された北村良雄代表監査委員が表彰されました。

管理者行政報告の中で、敷地境界大気中の放射

能や汚泥等の放射能物質量の定期測定結果は、これまで計測した数値とほぼ同様で基準値と比較しても低い値であると報告がありました。

..... **付議された議案の内容**

- 議案第16号 平成28年度北本地区衛生組合補正予算(第1号)

予算総額を3億2089万7千円とする。歳入は平成27年度決算確定により前年度繰越金を1926万2千円増額し、歳出は歳入で増額した額の全額を施設整備基金に積み立てるものとする。

原案のとおり可決されました。

なお、平成28年11月10日、11日に千葉県の鎌ヶ谷市と旭市において行政視察研修が実施されました。

「自らの命は自ら守る」予防防災

平成28年10月20日(木)、フレサよしみで埼玉県町村議会議員研修会が開催され、吉見町議会から議員13名が参加。

講師は、山村武彦防災システム研究所所長。「これからの防災・危機管理」をテーマに災害から命を守る準備と行動についての講演。



議会だより編集に活かします

平成28年10月26日(水)、東京都で全国町村議会広報研修会が、平成28年11月21日(月)、さいたま市で県町村議会広報研修会が開催され、議会だより編集委員4名が参加。
 ※「ドロッカーに学ぶ10のキーワード」など紙面構成の技術を学びました。



※ドロッカーとは、オーストリア人経営学者。

表紙の題字



田邊 高(こう)さん 久保田新田在住 20歳
 平成29年成人式実行委員会代表を務められた大学2年生。「小学校の先生になるのが将来の夢。他の人を支えてあげられる大人になりたい。」と笑顔で語ってくれました。

表紙の写真によせて



平成29年1月8日(日)、フレサよしみで開催された成人式。終了後、芝生広場にて中学生当時のクラスごとの写真撮影会。待つ間にもぎやかで華やか、なつかしい友との会話もはずむ。

編集後記

新しい年を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

12月16日付の朝日新聞に「本会議場で委員会認めず吉見町議会傍聴席「確保」の改革案否決」という見出しで記事が掲載されました。

平成29年3月議会からの設置を目指して調査を進めてきた「予算・決算特別委員会」。12月議会開会中の全員協議会で採決をしたところ設置は否決となりました。とても残念でありませんが、今年は酉年。コツコツと巢作りするトリのように努力を惜まず、これからも目標に向かって取り組んでいきたいと思います。(杉田)



吉見町議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長	秋山 真美
副委員長	杉田 しのぶ
委員	荻野 勇
委員	尾崎 豊
委員	戸谷 照喜
相談役(議長)	安孫子 和子

この議会だよりは再生紙を使用しています。